

北神けいろいろの国政報告：11月号

日頃より大変お世話になっています。

○今、日本は文字通り、内憂外患です。

中国については、ASEANの外相会談で前原外務大臣がはっきりと希土類（レアアース）の輸出停止に対する抗議をしました。また、東シナ海のガス油田で、約束に反して、中国側が一方的に開発を進めようとしているのではないかとの懸念も示しました。それに対して、中国側は反発をして、首脳会談をいきなり中止してきました。前原大臣ははっきりと中国側に日本の利益を主張しています。私は、この対応を全面的に支持します。党内でも、同じ仲間の議員と団結して、大臣が孤立化しないように支えていきます。

当たり前ではないですか。日中関係が大事なものは、私もその通りだと思います。しかし、相手に対して、日本の考え方と国民国家の利益を語らずして、どうやって外交交渉をするのでしょうか。どうやって健全な日中関係を築いていくのでしょうか。中国に仲良くしていただくためであれば、何でもかんでも譲るとというのが、外交のプロなのではないでしょうか。菅政権は、一致団結して前原大臣と行動をとるべきであります。

○私自身も10月31日に台湾に行き、王金平立法院(国会)議長に、11月2日には韓国に行って、朴熺太国会議長に対し、我が国の立場に理解を求め、共産主義独裁国家中国が非常識な行動をとるたびに、良識ある民主主義国家が立ち上がって連携をしなければならない旨発言してきました。

日中関係が悪化することで、もちろん日本経済などが不利益をこうむることもあるでしょう。しかし、皆様方には、耐え忍んで、私たちの利益を主張する政治家を支えていただきたいと心よりお願いを申し上げます。

○他方、我が国経済は、本格的に円高不況に入りました。為替相場への介入も史上最大規模でやりました。日本銀行とも連携をして、先般、大胆な金融緩和を実施してもらいました。しかし、円高の基調を変えられないのが、厳しい現実です。こうしたことから、円高であっても中小企業をはじめ、地域経済を守るために、一方で、三段構えの景気対策を実施し始めています。

第一段は、平成22年度予算の予備費1兆円弱をすでに実施しています。第二段は、先月29日に国会に提出をした補正予算です。第三段は、来年度の予算です。今月は補正予算が国会で論議をされるはずですが、本補正予算は、丁寧に自民党や公明党などの野党の要求も盛り込んだものでありながら、初っぱなから審議拒否をされています。

具体的には地域の雇用を守るため、大企業が海外に流出しないように、国内の工場に対する立地補助を実施しています。また、中小企業の金融や技術開発支援なども実施しています。特に若い人たちの就職については、学生の間には仕事を経験させてくれる企業に支援をするなど雇用対策を実施しています。

内憂外患を乗り切るために、私も全力で奮闘してまいります。応援してください。